

皆さん、こんにちは。そして、お久しぶりです。まずは、今日も体育館にシートを敷くなど、会場の準備をしてくれた、そしてこの後、片づけてくれる運動部の部員の皆さんにお礼申し上げます。いつもいつもありがとうございます。

こうして皆さんとお話しするのは、2月9日の千里フェスタオープニング以来でしょうか。この間、いろいろなことがありました。皆さんは、後期期末考査がありましたね。あ、そうそう、進級おめでとうございます。昨日、進級判定会議を行い、皆さんの進級が決定しました。中には、担任の先生から、「進級はしたけど、いくつかの単位を落としたよ。来年度には、追認試験があるから、必ずそのチャンスを活かして、全部取るように。」と言われた人もいるでしょう。私からもいいいます。担任の先生の言われたとおり、必ず全部の単位を取ってください。特に新2年生、1年で落とした単位がそのままだと、2年生で落とした単位数に加算されてしまいます。2年生での学習は、もちろん1年生より難しくなりますので、2年生から3年生への進級のハードルがなおさら高くなります。もちろん新3年生も同じですよ。ただね、進級や卒業ばかりを気にしているようでは、その先の進路実現などは、とてもおぼつきません。さらなる高みをめざすためにも、進級・卒業など、余裕でクリアするくらいに、日々の学習を大切に、力をつけてください。

さて、この場には3年生は、もういません。3月1日に、無事卒業式を終え、311名がとてもいい顔をして、元気に千里高校を巣立っていきました。1年後の2年生の姿ですね。また今日の10時から、一般選抜の合格発表があり、その瞬間、帰国生選抜を除く311名の合格者が歓喜の声を上げていました。1年前の1年生の姿ですね。ここで皆さんにお礼とお詫びをしておかなければなりません。3月9日の学力検査から採点、合否判定作業中の3月15日まで、校内への立ち入りを禁止し、部活動の練習を制限しました。練習したくて、うずうずしていた人もあったことでしょう。ご迷惑をおかけしましたが、おかげさまで今朝、合計320名の合格者を、無事発表することができました。ありがとうございました。

このように、日本の春は、別れと出会いの季節です。皆さんも4月に入ると、これまでのクラスと別れ、新しいクラスメイトとの出会いがあることでしょう。今日もここで、四字熟語の問題です。その前に前回の復習。最近、朝、学校に来るときとか、夕方、学校から帰るときに、「すっかり明るくなったなあ。」と、感じていることでしょう。このように「冬至を過ぎ、日が少しずつ長くなって春の訪れを感じる。あるいは冬至そのもの。」を表す四字熟語は、何だったでしょうか。もちろん答えは、「一陽来復」でした。あの日は、冬至の翌日でしたが、3日後は、春分。早くも1/4、季節が巡りました。

さて今日の問題です。元々は、茶道の心構えを表した言葉で「茶会に臨む際には、その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるということを心得て、亭主・客ともに互いに誠意を尽しなさい。」、転じて「人と人の出会いは一度限りのものだから、大切にしなさい。」という意味を表す四字熟語は何でしょうか。正解は、「一期一会」ですね。

人と人との出会いは、別れの始まりであり、人生におけるそれぞれの瞬間は、1回限りのものです。まさに我々の人生は「一期一会」の繰り返しです。人生は、決してゲームではなく、リセットボタンなどは、付いていません。しかしやり直すことができないから、元の時間に戻れないから、人生は、面白いのです。人と人との出会いに感謝し、その瞬間を大切に、誠意を持って接し、そして自分の進むべき道をしっかりと選び、一期一会の人生をたくましく生き抜いてください。

とりわけ2年生、皆さんが最上級生として、これからの千里高校を背負っていきます。この春休み、来春の入試に向け、学習の基礎を固め、決意を新たにしてください。また部によっては、部活動に打ち込める最後の長期休業となります。合宿にでかける部もあるでしょう。「一期一会」のこの春休み、悔いのない練習を重ねてください。確かクラスマッチの時にも、いいましたね。「2年生、千里の柱になれ！」。

最後に、4月から新1年生が入学してきます。1年生も、「先輩！」と呼ばれることでしょう。どうか新入生を迎えて、良き先輩として、新入生を導き、これからの千里高校を一層すばらしい学校にしてください。千里高校は、今年度50周年を終えました。次の50年に向け、皆さんと一緒に、新たなスタートを切りましょう。これで私の挨拶を終わります。